

令和8年度 第4回教育研究評議会議事要録

日 時：令和8年7月9日（木）13:59～15:02

場 所：対面（水戸キャンパス事務局棟3階第一会議室）及びオンライン（Microsoft Teams）併用

出席者：佐川学長、乾理事・副学長（総括・企画・評価）、大久保理事・副学長（教育）、倉本理事・副学長（学術）、下山田理事（社会連携・基金運営）、菊池理事（ダイバーシティ・国際）、蓮井人文社会科学野長・人文社会科学部長、勝二教育学野長・教育学部長、中村基礎自然科学野長・理学部長、横木応用理工学野長・工学部長・理工学研究科長、豊田応用生物学野長・農学部長、田中地域未来共創学環長、菅谷評議員、上地評議員、阪口評議員、宮嶋評議員、戸嶋評議員、鈴木評議員、高橋評議員、新井評議員、田内評議員、小林評議員、伊丹評議員、西川副学長（教学マネジメント）、池田副学長（国際連携）

監事監査規則第9条第2項に基づく出席者：人見監事、白田監事

議 題：

審議事項

- 1 ムハンマディヤ ジェンベル大学（インドネシア）とのMOU締結について
- 2 教員の懲戒について

報告事項

- 1 令和7年度の防犯カメラの閲覧及び第三者提供について
- 2 令和8年度卒業式及び令和9年度入学式の開催について
- 3 令和7年度卒業・修了者進路状況について

議 事 概 要

I 審議事項（○：構成員 ●：報告者、事務局等）

- 1 ムハンマディヤ ジェンベル大学（インドネシア）とのMOU締結について

学長から、ムハンマディヤ ジェンベル大学（インドネシア）とのMOU締結について、資料1に基づき審議願いたい旨提案があった。次いで、工学部長から説明があり、提案のとおり了承された。

【主な意見】

○協定締結に向けた実質的な協議は既に終了しており、協定文案についても今後変更は生じないとの理解でよい。

●協定締結については双方で概ね合意済みで文案も概ね確定しており、7月の訪問は意思確認や説明を目的とするもので、内容変更は想定していないが、新たな事項が生じた場合には必要に応じて協議を行う。

- 2 教員の懲戒について

学長から、教員の懲戒について、資料2に基づき審議願いたい旨提案があった。次いで、人事労務課長から説明があり、提案のとおり了承された。

II 報告事項

1 令和7年度の防犯カメラの閲覧及び第三者提供について

総務課長から、令和7年度の防犯カメラの閲覧及び第三者提供について、資料3に基づき報告があった。

【主な意見】

○第三者提供をしていない閲覧とは、具体的にどのような場合を指すのか。

●個別事案については回答を差し控えるが、例えば学内で事件等が発生した際に、本学職員が防犯カメラに保存された映像データを確認する場合などが該当する。

○本学教職員による確認も報告対象ということか。

●そのとおりである。保存されたデータは本学教職員も自由に閲覧できるものではなく、所定の手続きを経て閲覧することとしている。

2 令和8年度卒業式及び令和9年度入学式の開催について

総務課長から、令和8年度卒業式及び令和9年度入学式の開催について、資料4に基づき報告があった。

3 令和7年度卒業・修了者進路状況について

学生支援課長から、令和7年度卒業・修了者進路状況について、資料5に基づき報告があった。

【主な意見】

○就職率はどのような考え方に基づいて算出しているのか。就職者率とはどのような違いがあるのか。

●就職率は、就職を希望した学生のうち実際に就職した割合を示す指標であり、文部科学省の定義に基づき、就職希望者（求職者）数を分母として算出している。報道等で一般的に用いられる数値は就職率である。一方、就職者率は卒業・修了者のうち就職した割合を示す指標であり、進学者率と併せて運営費交付金の指標等に用いられている。

○就職希望者（求職者）数はどのようにして把握しているのか。

●就職希望者（求職者）数は進路調査において把握しており、就職活動継続中の者や公務員試験・教員採用試験の準備中の者を求職者として集計し、進学準備中の者や療養等により就職を希望しない者は含めていない。

○本学では学生本人への調査や追跡確認を通じて進路状況を把握し、求職者数を適切に集計しているという理解でよいのか。

●そのとおりである。可能な限り本人確認に基づき集計している。

○茨城県内就職者数の把握に当たり、実際の勤務地をどの程度正確に把握できているのか。

●学校基本調査には勤務地の回答項目はない。自治体等から依頼のある調査では勤務地を回答しているが、卒業・修了時点で勤務地が未確定の場合は本社所在地で整理しているため、実際の勤務地を正確に把握するには限界がある。なお、より正確な把握には卒業・修了後の追跡調査が必要となるが、調査手段については今後検討していきたい。

III 監事からの意見

・進路状況の把握に当たっては、就職率等のみならず、学生が希望する進路や就職先への進路実現状況についても把握・分析することができれば、キャリア支援の成果をより多面的に検証（適切に評価）できると考えられる。調査手法上の課題はあるものの、把握可能な方法について検討いただきたい。

IV その他

- ・会議資料の公開について
資料 2 のみ非公開

- ・次回の教育研究評議会について

6 月 11 日（木）14 時 00 分からハイブリッド形式（対面：水戸キャンパス事務局棟第一会議室、オンライン：Microsoft Teams）にて開催